

彩の活動

2017年6月23日

彩の理学療法士が作野小学校3年生の福祉学習会で講話



彩の理学療法士が安城市立作野小学校を訪問し、3年生の福祉学習会で講話を行いました。

高齢化が進む中、高齢者や、病気の後遺症などで障がいを抱えながら地域に暮らす人々は増えています。普段そうした方々と接する機会が少ない小学生の皆さんに、高齢者の身体的な特徴や、身体機能の低下した方との関わり方について、リハビリの観点からお話しました。

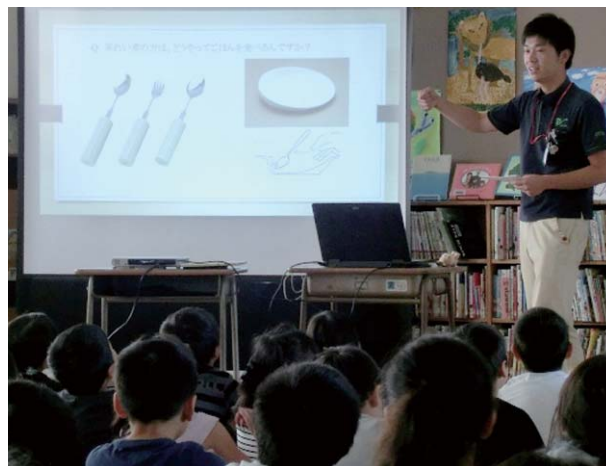
学習会では、「自助具」を紹介し、道具や方法を工夫することで身体機能が低下した方が自分自身でできることが増え、生活が便利になることを説明したり(写真右)、身体の機能を制限した状態で生徒さん達にリハビリを体験してもらい、どのように声掛けやサポートしてもらえると安心するかを体感してもらいながら、関わり方を考えていきました。

これに先立ち行われた高齢者疑似体験で、生徒さん達は高齢者の身体的な不便さを身を持って感じており、学習会では相手の状態や気持ちに思いを巡らせながら、どのようなサポートが必要なのか、皆が懸命に考えてくれました。

講話後、生徒さんからは「目をつぶってリハビリを体験したとき、声をかけてもらい、背中を少し手で支えてもらうだけで安心した。これからは、困っている人がいたら自分から声をかけたい」「力がない人でも使

いやすい道具があることを初めて知った。お年寄りを何でも助けるのではなく、お年寄りができることは自分でできるように支えることが大切だということを教えてもらった」といった感想が寄せられました。

ここでの皆さんの気づきが、彩の想いである「年齢や障がいに関わりなく誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり」への行動につながれば、こんなに嬉しいことはありません。作野小学校の皆さん、ありがとうございました。



約100人の3年生を前に話をする彩の小笠原理学療法士。彩のスタッフが、利用者さんと接する中で日々学んでいることを例に挙げながら、「高齢者の皆さんは人生の先輩。教わるのがたくさんあるので、相手を敬う気持ちで接することが何より大切」であることを、最後にお伝えしました。

彩 出張講座のご案内

リハビリデイサービス 彩では、地域の福祉教育を支援しています。地域の企業や学校、町内会の集いに、理学療法士・作業療法士らがお伺いし、リハビリや介護・介護予防などについてお話しします。テーマや時間に合わせ、内容のご相談に応じますので、気軽にお問い合わせください。